

近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



庚子年十一月

寅冬之月
南坡堂
寅冬之月
南坡堂

南坡堂

經濟學部
研究室
5
1294

経済学部
研究室

5
1294

不



39058

及志吉中三口三覺

井村村之儀南秋遠作有之後河瀬前
手中之儀及河瀬如江 似有教之書以是
之儀大中一儀及河瀬如江 似有教之書以是
右儀如在中一似有教之書以是
左儀如在中一似有教之書以是

十二月

右儀如中
左儀如中

宇山本齋啟

今の初元
南無阿彌陀佛

寅
十二月

左様申す上之口立書

今の初元
南無阿彌陀佛
南無阿彌陀佛
南無阿彌陀佛

左起今兩院元南坡廣殿
院元南坡廣殿

心為其村左院元南坡廣殿
法修出之文書之部故云偏年有津用向
洞春依波之書也津社家之今日古人之
清也元之古好以之并村之色而之
南坡廣殿元之書也

御奉直之湯之取物以爲紙力之五卷
く身成之具未表其後之體體體
之の連板之南東上村之南東内院
作中宮縁之儀之儀法之元之増益始
元元元元元元元元元元元元元元
其之元元元元元元元元元元元元
下通一併之元元元元元元元元元元

湯之取物以爲紙力之五卷
く身成之具未表其後之體體體
之の連板之南東上村之南東内院
作中宮縁之儀之儀法之元之増益始
元元元元元元元元元元元元元元
其之元元元元元元元元元元元元
下通一併之元元元元元元元元元元

不修其身其心廣而後能修其身
立寒之純子版之純之純之純之純
我年分之以并於於於於於於於於
之之之之之之之之之之之之之之
南江之月中之月中之月中之月中之
此在之此在之此在之此在之此在之
清歌中之歌中之歌中之歌中之歌中之

而教哉少不何月之版其長山御中
其下之行御之在在在在在在在在
節操之湯進之進之進之進之進之
其下之其下之其下之其下之其下之
非危之非危之非危之非危之非危之
之之之之之之之之之之之之之之
之之之之之之之之之之之之之之

とておぼしむるは、おなじく、又、今、作、遠、作、候、由、
治、承、之、由、為、之、候、一、時、奉、之、由、之、由、之、由、
所、之、廻、材、之、由、成、之、仕、安、宗、之、由、之、由、候、由、
之、由、之、由、井、野、村、之、由、村、之、由、最、長、之、由、之、由、
地、之、由、之、由、成、之、由、之、由、之、由、之、由、
所、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
元、之、由、之、由、且、於、増、之、由、之、由、之、由、

是、内、中、用、候、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
村、中、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、
之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、之、由、

松石江とて法用我の経義を是に安んず
打てよとの言ふに少部命の御座りし事云々
と為す猶法用我の法を今に猶法用我
之の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
思ふに法用我の御座りし事云々
亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
也入る事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
凡の言ふ事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々

孰れ我の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
凡の言ふ事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
也入る事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
凡の言ふ事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
凡の言ふ事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
也入る事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々
凡の言ふ事云々亦の言ふ事云々法用我の言ふ事云々

極難名... 任科... 結... 右所... 其... 移... 寄... 予... 中... 中...

... 欣... 此... 博... 移... 中... 危...

何物は法に違ふは其の事也
以て之を法に違ふは其の事也
何物は法に違ふは其の事也

慶應二丙寅年

二月廿六日

南郷在道
南郷在道
南郷在道

山本在道様

南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ
南郷在道様へ

此手書其妻之食也... 及及部... 乃乃...
 三行... 字...

萬景... 書

井... 村

此... 子...

一... 歲... 格... 亦...

清江雜用正德御書

一 清江

德流代

一 清江

清江

一 清江

清江



清江

一 清江

清江

一 清江

清江

一 清江

清江

一 清江

清江

